

—“ふるさとちば”のための政策推進を◆



あべこーじー県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7910

県民のさらなる幸せ求め!

9月県議会報告

稻毛区の皆さまには、お元気でお過ごしのことと拝察申し上げます。秋も深まり、すばらしい时节となりました。皆さまには、スポーツや行楽を楽しんでいただき、ご家族で良い思い出を作つていただければと思ひます。

二かり県政へ反映させるため
地道な努力を続けています。阿部県議
は、地位や名誉を求める事もなく、
公正な人柄から県監査委員を委嘱され
るなど、県議会の中でもその評価を高
めています。

稲毛区の皆さまには、お元気でお過ごしのことと拝察申し上げます。秋も深まり、すばらしい时节となりました。皆さま楽しんでいただき、ご家族で良い思い出を作つていただければと思ひます。

さて、内外における重要な課題山積の中、政府機能がストップし、問題解決が図られず政治空白が続いています。まさに党利党略が優先され、国民不在の政治に陥っています。これは与野党ともに大きな責任があります。

市長へ之を寄せ、具体的な案を挙げれば、特例公債法案であります。この法案が成立しない状態が続けば、県、市町村が担う福祉サービスや生活保護に支障が生じ、国民生活にも悪影響が

及ぶことになります。
これらは、そもそも与野党間の信頼関係の崩壊が原因であります。しかし、いつまでも成立を遅らせてはなりません。与野党は、国民生活、国益を優先し、互いに協力して、早くこの法案を国会で成立させよう強く求めるものであります。

これからも腰を据えて、しつかりと皆さまの更なる幸せを求め努力してまいりますことをお誓い申し上げます。

A black and white photograph of a man in a dark suit and patterned tie speaking at a podium. He is wearing glasses and has a name tag pinned to his lapel. The background shows a wall with a grid pattern and some equipment.

可決された主な補正予算

9月定例県議会は、10月16日に28日間の会期を終了して閉会しました。9月議会は例年補正予算案の審議が中心ですが、今議会では森田知事から提案された総額168億9700万余円の追加補正予算案が審議され、いずれも自民党など賛成多数で可決・成立しました。この結果、千葉県の平成24年度の補正後の予算総額は、1兆6170億500万円となりました。

9月補正では、国からの交付金を積み立てた基金を活用した事業などが計上され、安全・安心のまちづくりや医療・福祉の充実などを予算配分されました。可決された9月補正予算の主

○振り込め詐欺・悪質商法被害抑止コールセンター事業 3275万円

4850万円
保育所等が実施する延長
保育、病児・病後児保育等
への助成を増額します。

○移動交番車へのAED設置（新規事業） 1千万円
地域住民の安全・安心確保のさらなる強化を図るために、機動性の高い移動交番車（全50台）にAED（自動体外式除細動器）を設置します。事業費は5年間のリース料総額で1732万円で、初年度の24年度の予算額は1千万円です。

子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金を活用して、市町村が行うワクチン接種事業に対する助成を増額します。対象ワクチン接種事業者に対する助成額は、13億9,229万円

な事業をご紹介します。

既存の特別養護老人ホーム等の個室・ユニット化改修に対し助成します。

○既存特別養護老人ホーム
等のユニット化改修事業
200万円

①特別養護老人ホーム
400万円／床

②併設される短期入所居室
(ショートステイ)
80万円／床

○緊急雇用創出事業
18億5235万円
国が交付金で造成した基金を活用し、失業者の次の就職先が見つかるまでのつなぎ雇用（原則1年以内）を創出するための事業について、増額します。

